

蕨野地区 もう一つの教室



佐賀大実習田で行われた学生たちの田植え体験。
6月7日撮影 | 唐津市(旧相知町) 蕨野

佐大フケツチ

オープンキャンパスは数年後、美しい。ウグイスの鳴き声も聞
の佐大生を夢見る多くの高校生 見え、とんぼがスイスイ飛んで
でにぎわった。 あせ道にはトノサマガエ

ルがいた。

学生たちは試験も終わり、た
だいま夏休み中。静かなキャン
パスを後にして唐津市の蕨野地
区に行ってきた。ここには農学
部の実習田がある。この地区の
棚田は「棚田百選」にも選ばれ
ているだけに、どの田も青々と

平成十五年から大学は棚田を借

り、学生たちは米を作ってきた。
田んぼの水はそばを流れる沢の
水を使う。実習田は棚田の一番
上の六枚。黒いチューブで水が
引き込まれていた。

学生たちの作業は五月、地域
の人たちと一緒にする沢の掃除
から始まる。田植えは六月七日
行われたが、もう穂が見えてい
る。実習田の米はJASの有機
米の認証を受けており、手作業
が多い。学生たちはフィールド
センターの職員とともにこの作
業をする。六枚の田んぼから二
百kgの米が取れる。棚田を守る
石垣は江戸時代に築かれたと
いう。

一方、大学らしい新しい装置
も。インシンの害から稲を守る
電子柵の電気は風力と太陽電
池で賄っている。水の状態を大
学からも見られるようにカメ
ラも据え付けられている。「先
祖から受け継いだ田を荒らすわ
けにはいけない」と地域の人々
の心意気。この場所でも学生た
ちはいろいろなことを学んで
いる。

(佐賀大学理事・北島悦子)
※次回は二十六日の予定で